

れいわ ねん ねん がつ にち もく
令和7年(2025年)12月11日(木)

じ ふん じ ふん
14時00分から 16時00分

はち おう じしやくしよほんちようしゃ かいぎしつ
八王子市役所本庁舎 801・802会議室

れいわ ねんど ねんど
令和7年度(2025年度)

しょうがいしゃちいきじりつしえんきょうぎかいだいかいぜんたいかい
障害者地域自立支援協議会第3回全体会

し だい
次 第

1 議題

- (1) にちゅうかつどうしえんがた じっしじょうきょうほうこく
日中活動支援型グループホームの実施状況報告について
- (2) かくぶかい かつどうほうこく
各部会からの活動報告について

2 その他

- (1) いいんかいせん
委員改選について
- (2) その他

＜資料＞

- 【資料1-1】 株式会社AMATHI
- 【資料1-2】 合同会社 ドウマンクレール
- 【資料1-3】 ソーシャルインクルー株式会社
- 【資料2-1】 権利擁護推進部会 活動報告資料
- 【資料2-2】 相談支援地域移行部会 活動報告資料
- 【資料2-3】 就労支援部会 活動報告資料
- 【資料2-3】 就労支援部会 アンケート集計
- 【資料2-4】 子ども部会 活動報告資料
- 【資料2-5】 地域継続支援部会 活動報告資料
- 【資料3】 にちじょうせいかつようぐきゅうふとうじぎょう
日常生活用具給付等事業のスマートフォン追加について

事業計画書(実績報告書) 日中サービス支援型指定共同生活援助

基本情報	1	法人名称	株式会社AMATUHI
	2	事業所名称	AMANEKU八王子美山町
	3	事業所所在地	東京都八王子市美山町805-3
	4	各ユニット名称・所在地	①AMANEKU八王子美山町1階 (八王子市美山町805-3-1階) ②AMANEKU八王子美山町2階 (八王子市美山町805-3-2階)
	5	主たる対象者	知的障害者・身体障害者・精神障害者・難病等対象者
	6	定員	①AMANEKU八王子美山町1階 10名(男性フロア) ②AMANEKU八王子美山町2階 10名(女性フロア)
	7	短期入所	合計2室 ユニット名 AMANEKU八王子美山町 短期入所 (2室)
人員配置について	8	人員配置	人員配置区分 I 型 (5:1) 管理者 1人(常勤換算1人) サービス管理責任者 2人(常勤換算1人) 世話人 28人(常勤換算6.4人) 生活支援員 7人(常勤換算5.5人)
	9	介護業務に係る資格取得従業者	介護福祉士 2人 実務者研修修了者 4人 ヘルパー2級 2人 その他: 正看護師 5人
	10	夜間支援体制	夜間支援員 15人 ユニット内訳 ① 8人 ② 7人
	11	看護師の配置 (配置人数、週勤務時間数等)	あり 配置状況詳細(正看護師資格所有者を5名配置、週1～4日、1日当たり9:00～19:00または、16:00～9:00で勤務)
運営・支	12	事業の目的・理由 (日中サービス支援型の実施に至った経緯等)	当社の経営理念は「障がいの有無に関わらず、全ての人が自分らしくあるために、豊かな暮らしを創造すること。」です。 障がい者の方々の暮らしを支える企業として、生活を支えるグループホーム事業、住まいを支えるグループホーム建設事業、働くことを支える就労支援事業を展開しています。 中でも、暮らしの土台となる生活面でのサポートは、当社企業理念の実現に向けた我々の使命と考えており、主の事業として注力しています。

へ 援 に つ い て	13	支援の基本方針	弊社のグループホームでは、各フロア常時2名体制が取れるよう、人員配置を行っております。日中、他の日中活動サービスをご利用されない利用者様にも支援ができるよう、24時間どの時間でも各フロア2名体制で支援を行っております。土日・祝日なども同様の体制を確保しております。
	14	日中の支援方法 (日中をGHで過ごす利用者に対して、どのような支援を行うのか)	身体障がいの方に対して、歩行訓練の支援・見守りなどを行ったり、食事や入浴、排せつの介助等も行っております。行政やその他必要な手続きの支援なども行っております。
運 営 ・ 支 援 に つ い て	15	地域との交流方法 (日中をGHで過ごす利用者が、地域との交流が希薄にならない工夫等)	常時2名体制を取る中で、外出レクをはじめとした各種行事にてご家族や地域の皆様との交流を図っております。日中支援におきましても、職員が常駐しているからこそ外出支援の充足が成されGH内に居続けてしまうことなく、ご自身の今までのライフスタイルを継続出来ております。また、利用者様においても職員のサポートがあることに安心と信頼をおいていただけるよう関係性を構築し、外出を含めた地域交流への促進を行っております。
	16	健康管理について (医療機関との連携、医師や看護師の訪問の有無、日々の健康チェック方法等)	弊社にて訪問看護ステーションの設置があり、原則として一人当たり週3日の訪問看護体制を敷いております。また医師に関しましては、ご入居の際に既往歴や往診・通院の有無等を事前に確認し、当GHでの生活の中でご負担が少なく安心できる医療を受けられるのかをすり合わせを行い、合意形成まで実行しております。日々の健康チェック方法としまして、日中の定期的なバイタル測定をはじめとし食事量・顔色・機嫌・入浴時の状態確認など、ご本人様との日頃のコミュニケーションを主体にチェックさせていただき、不安点があった場合にはホーム長並びに全職員へ相談共有、緊急性があるものは更に往診医と訪問看護に指示を仰ぎます。但し、即時対応として救急要請も実施しており、ご利用者様の状態が著しく変化している、既往歴から注意すべき事象に発展しているまたは発展に至る可能性が高い場合には、即時救急要請を行います。

	17	食事について (栄養士の有無、食事の提供方法等)	<p>現在はタイヘイ株式会社様に委託して食事提供を行っております。タイヘイ株式会社様に所属されております栄養士様監修の献立を、レシピを添えて月毎に提供いただき、現場では献立レシピに沿って調理から提供まで実施しております。提供時には利用者様それぞれに合った状態でお出ししています。例えば、刻みやとろみ、介助の有無まで細かく管理し食事を楽しみながらも適切な支援を目指し日々の食事においても利用者様とコミュニケーションを図り都度支援方法をサビ管等に報告して支援計画の見直しを行い従事しております。</p>
	18	設備と運営の特色や工夫	<p>自社で設計を行っているため、設備面においては全て新築の建物で、利便性の良い立地、ユニバーサルデザイン、心地よい動線、アートやグリーンのエッセンスなど、様々なこだわりを加えました。</p>
利用者について	19	平均支援区分	<p>現利用者:20人 区分3 2名 区分4 7名 区分5 4名 区分6 7名 平均支援区分 4.8 利用予定者:満床のため0人</p>
	20	利用者の障害特性等 (医療的ケアの必要性の有無、強度行動障害のある利用者の有無等)	<p>現利用者:20名 医療的ケアの必要がある利用者様 0名 強度行動障害がある利用者様 0名 利用予定者:0名</p>
	21	利用者の通所状況	<p>現利用者:20人 通所する利用者 6人 GHで主に日中を過ごす利用者 14人 利用予定者:0人</p>
	22	(新規開設又はユニット増の場合のみ)利用者の入居の申込み状況・新規利用者の募集方法	
	23	その他	<p>頂いたご指摘を踏まえ、周辺の住民の方に自治会への参加方法を確認し自治会へ参加、その後八王子市(シオザワ様)宛に電話で報告を行いました。地域との連携を深め、今後も自治会の集まりなどには積極的に参加し、関係づくりに努めていく所存です。</p>

事業計画書(実績報告書) 日中サービス支援型指定共同生活援助

基本情報	1	法人名称	株式会社AMATUHI
	2	事業所名称	AMANEKU八王子川口町
	3	事業所所在地	東京都八王子市 川口町1387-2
	4	各ユニット名称・所在地	①AMANEKU八王子川口町A棟1階 (八王子市川口町1387-2-1階) ②AMANEKU八王子川口町A棟2階 (八王子市川口町1387-2-2階) ③AMANEKU八王子川口町B棟1階 (八王子市川口町1387-21-1階) ④AMANEKU八王子川口町B棟2階 (八王子市川口町1387-21-2階) ⑤AMANEKU八王子川口町C棟1階 (八王子市川口町1387-22-1階) ⑥AMANEKU八王子川口町C棟2階 (八王子市川口町1387-22-2階) ⑦AMANEKU八王子中野山王1階 (八王子市中野山王二丁目21番10号-1階) ⑧AMANEKU八王子中野山王2階 (八王子市中野山王二丁目21番10号-2階)
	5	主たる対象者	知的障害者・身体障害者・精神障害者・難病等対象者
	6	定員	合計80人 ①AMANEKU八王子川口町A棟1階 10名 ②AMANEKU八王子川口町A棟2階 10名 ③AMANEKU八王子川口町B棟1階 10名 ④AMANEKU八王子川口町B棟2階 10名 ⑤AMANEKU八王子川口町C棟1階 10名 ⑥AMANEKU八王子川口町C棟2階 10名 ⑦AMANEKU八王子中野山王1階 10名 ⑧AMANEKU八王子中野山王2階 10名
	7	短期入所	合計8室 各ユニットに1室ずつ

人員配置について	8	<p>じんいん はいち 人員配置</p>	<p>じんいん はいち ぶん なた 人員配置区分 I 型 (5:1)</p> <p>かんりしや り じょうきんかんさん り 管理者 1人(常勤換算1人)</p> <p>サービス管理責任者 3人(常勤換算1人)</p> <p>せわ にん にん じょうきんかんさん にん 世話人 84人(常勤換算22.4人)</p> <p>せいかつ しえん いん にん じょうきんかんさん にん 生活支援員 26人(常勤換算19.4人)</p>
	9	<p>かいご ぎょうむ かか しかく しゅとく じゅ 介護業務に係る資格取得従 業者</p>	<p>かいご ふくし にん 介護福祉士 6人</p> <p>じつむしや けんしゅちゅうりょうしや にん 実務者研修修了者 8人</p> <p>ヘルパー2級 8人</p> <p>た せいかんごし にん その他: 正看護師 26人</p>
	10	<p>やかん しえん たいせい 夜間支援体制</p>	<p>やかん しえん いん にん 夜間支援員 64人</p> <p>ユニット内訳 ① 9人 ② 7人 ③ 8人 ④ 6人 ⑤ 9人 ⑥ 9人 ⑦ 8人 ⑧ 8人</p>
	11	<p>かんごし はいち 看護師の配置</p> <p>はいち にんずう しゅうきんむ じかん すう (配置人数、週勤務時間数 等)</p>	<p>あり 有</p> <p>はいち じょうきんりょうさい せいかんごし しかく しゅうしや めい はいち しゅう にち 配置状況詳細(正看護師資格所有者を26名配置、週1～4日、1 日あたり9:00～19:00または、16:00～9:00で勤務)</p>
	12	<p>じぎょう もくてき りゆう 事業の目的・理由</p> <p>にっちゅう しえんがた じつ (日中サービス支援型の実 施に至った経緯等)</p>	<p>とうしや けいえいりねん しやう うむ せき すべ ひと じぶん 当社の経営理念は「障がいの有無に関わらず、全ての人が自分 らしくあるために、豊かな暮らしを創造すること。」です。</p> <p>しやう しや かたがた く ささ きぎょう せいかつ ささ 障がい者の方々の暮らしを支える企業として、生活を支えるグ ループホーム事業、住まいを支えるグループホーム建設事業、 はたら ささ しゅうろうしえんじぎょう てんかい 働くことを支える就労支援事業を展開しています。</p> <p>なか く どだい せいかつめん とうしやきぎょうりねん 中でも、暮らしの土台となる生活面でのサポートは、当社企業理 念の実現に向けた我々の使命と考えており、主の事業として注 うりよく 力しています。</p>
運営・支援について	13	<p>しえん きほん ほうしん 支援の基本方針</p>	<p>へいしや 弊社のグループホームでは、各フロア常時2名体制が取れるよ う、人員配置を行っております。日中、他の日中活動サービスを ご利用されない利用者様にも支援ができるよう、24時間どの時間 でも各フロア2名体制で支援を行っております。土日・祝日なども 同様の体制を確保しております。</p>
	14	<p>にっちゅう しえん ほうほう 日中の支援方法</p> <p>にっちゅう す りやうしや (日中をGHで過ごす利用者 に対して、どのような支援を おこな 行うのか)</p>	<p>しんたいしやう かた たい ほうく くんれん しえん みまも おこな 身体障がいの方に対して、歩行訓練の支援・見守りなどを行った り、食事や入浴、排せつの介助等も行っております。</p> <p>ぎやうせい た ひつよう てつづ しえん おこな 行政やその他必要な手続きの支援なども行っております。</p>

運営・支援について	15	<p>ちいき こうりゅうほうほう 地域との交流方法 (日中をGHで過ごす利用者が、地域との交流が希薄にならない工夫等)</p>	<p>じょうじ めいたいせい と なか がいしゅつ かくしゅぎょうじ 常時2名体制を取る中で、外出レクをはじめとした各種行事にて ご家族や地域の皆様との交流を図っております。日中支援にお きまして、職員が常駐しているからこそ外出支援の充足が成さ れGH内に居続けてしまうことなく、ご自身の今までのライフスタ イルを継続出来ております。また、利用者様においても職員のサ ポートがあることに安心と信頼をおいていただけるよう関係性を 構築し、外出を含めた地域交流への促進を行っております。</p>
	16	<p>けんこう かんり 健康管理について (医療機関との連携、医師や 看護師の訪問の有無、日々 の健康チェック方法等)</p>	<p>へいしや ほうもんかんご せっち げんそく ひとりあ 弊社にて訪問看護ステーションの設置があり、原則として一人当 たり週3日の訪問看護体制を敷いております。また医師に関しま しては、ご入居の際に既往歴や往診・通院の有無等を事前に確 認し、当GHでの生活の中でご負担が少なく安心できる医療を受 けられるのかをすり合わせを行い、合意形成まで実行してしま す。日々の健康チェック方法としまして、日中の定期的なバイタル 測定をはじめとし食事量・顔色・機嫌・入浴時の状態確認など、ご 本人様との日頃のコミュニケーションを主体にチェックさせていた だき、不安点があった場合にはホーム長並びに全職員へ相談共 有、緊急性があるものは更に往診医と訪問看護に指示を仰ぎま す。但し、即時対応として救急要請も実施しており、ご利用者様 の状態が著しく変化している、既往歴から注意すべき事象に発 展しているまたは発展に至る可能性が高い場合には、即時救急 要請を行います。</p>
	17	<p>しょくじ 食事について (栄養士の有無、食事の提 供方法等)</p>	<p>げんざい かぶしがいいしやさま いたく しょくじていきょう おこな 現在はタイヘイ株式会社様に委託して食事提供を行っておりま す。タイヘイ株式会社様に所属されております栄養士様監修の 献立を、レシピを添えて月毎に提供いただき、現場では献立レシ ピに沿って調理から提供まで実施しております。提供時には利用 者様それぞれに合った状態でお出ししています。例えば、刻みや とろみ、介助の有無まで細かく管理し食事を楽しみながらも適切 な支援を目指し日々の食事においても利用者様とコミュニケー ションを図り都度支援方法をサビ管等に報告して支援計画の見 直しを行い従事しております。</p>
	18	<p>せつび うんえい とくしょく くふう 設備と運営の特色や工夫</p>	<p>じしゃ せつけい ぎょう せつびめん すべ しんちく たて 自社で設計を行っているため、設備面においては全て新築の建 物の、利便性の良い立地、ユニバーサルデザイン、心地よい動 線、アートやグリーンのエッセンスなど、様々なこだわりを加えま した。</p>

利用者について	19	平均支援区分	<p>現利用者: 77名</p> <p>区分2 1名</p> <p>区分3 11名</p> <p>区分4 26名</p> <p>区分5 22名</p> <p>区分6 17名</p> <p>平均支援区分 4.6</p> <p>利用予定者: 区分3～6の方を受け入れ想定</p>
	20	利用者の障害特性等 (医療的ケアの必要性の有無、強度行動障害のある利用者の有無等)	<p>現利用者: 77</p> <p>医療的ケアの必要がある利用者様 4名</p> <p>強度行動障害がある利用者様 8名</p> <p>利用予定者: 3</p> <p>医療的ケアの必要がある利用者様 1名</p> <p>強度行動障害がある利用者様 0名</p>
	21	利用者の通所状況	<p>現利用者: 77人</p> <p>通所する利用者 24人</p> <p>GHで主に日中を過ごす利用者 53人</p> <p>利用予定者: 3人</p> <p>通所する利用者 2人</p> <p>GHで日中を過ごす利用者 1人</p>
	22	(新規開設又はユニット増の場合のみ) 利用者の入居の申込み状況・新規利用者の募集方法	
その他	23	その他	<p>頂いたご指摘を踏まえ、周辺の住民の方に自治会への参加方法を確認し自治会へ参加、その後八王子市(シオザワ様)宛に電話で報告を行いました。地域との連携を深め、今後も自治会の集まりなどには積極的に参加し、関係づくりに努めていく所存です。</p>

ほうじん じょうほう にっちゅう しえんがた してい きょうどう せいかつ えんじょ
法人情報(日中サービス支援型指定共同生活援助)

ほうじん じょうほう
○法人情報

1	ほうじんめいしやう 法人名称	かぶしきがいしや 株式会社AMATUHI
2	しよざいち 所在地	かながわけん よこはまし なかく さくらぎちやういちちやうめ ばんち にっせきよこはま かい 神奈川県横浜市中区桜木町一丁目1番地8 日石横浜ビル10階
3	もくてき じっし じぎやう 目的・実施事業	<p>とうしや けいえいりねん しやう うむ かか すべ ひと じぶん ゆた く そう 当社の経営理念は「障がい」の有無に関わらず、全ての人が自分らしくあるために、豊かな暮らしを創 造すること。」です。障がい者の暮らしを支える企業として、以下の3つの軸で事業を展開しています。 せいかつ ささ きやうどうせいかつえんじょ およ たんきにゆうしよ じぎやう す ささ 生活を支える＝グループホーム(共同生活援助)及びショートステイ(短期入所)事業、住まいを支える ＝グループホーム及びショートステイの設計・建設・施工、働くことを支える＝就労支援事業(グループ ほうじん いっぱんしゃだんほうじん じっし わたし じぎやう つう せいかつ かかわ 法人「一般社団法人たすけあい」にて実施) 私たちはこれらの事業を通じて、障がいの有無に関わら ず、全ての人が自分らしく輝ける「きっかけ＝チャンス」を創出し、誰もが住み慣れた地域で心穏やかに 暮らすことのできる社会を創造していきたいと考えています。また、これらの理念を実現するため、当 しゃ けいえいじん しやう ふくじじぎやう うんえい けいえい せいつう やくいん ぎやうせいししよ せつ 社の経営陣は、障がい福祉事業の運営・経営に精通した役員(行政書士・サービスマンリヤン)と、設 けい けんせつ せこう せいつう やくいん いっきゆうけんちく いっきゆうけんちくせこうかんりぎし こうせい ぜんくくてき 計・建設・施工に精通した役員(一級建築士・一級建築施工管理技士)とで構成しています。全国的に ふそく しやかいてき りやう たか にっちゅう しえんがた ふきゆう かんか 不足しており社会的に利用ニーズの高い日中サービス支援型グループホームを普及していきたいと考 えており、れいわ さまざま ちいき しやかいしげん しえんきかん れんけい はか ちやうさ てき 令和3年から、様々な地域の社会資源・支援機関と連携を図り、サービスニーズを調査し、適 ぎかいせつ けいかく うんえいじぎやう すいしん 宜開設を計画し、グループホーム運営事業を推進しております。</p>

ことぎやうしよいちらん
○事業所一覧

	サービス種類	事業所名称	所在地	指定年月日	主たる対象者	定員
1	きやうどうせいかつえんじょ 共同生活援助	ひらつか AMANEKU平塚	かながわけん ひらつかし なかはら 神奈川県平塚市中原 3-2-24	れいわ ねん がつ にち 令和3年12月1日	せいしんばう ちてきしやう 精神障がい・知的障 がい・身体障がい・難 い	31
2	たんき にゆうしよ 短期入所	ひらつか たんき AMANEKU平塚 短期 にゆうしよ 入所	かながわけん ひらつかし たむら 神奈川県平塚市田村 7-29-35	れいわ ねん がつ にち 令和4年2月1日	せいしんばう ちてきしやう 精神障がい・知的障 がい・身体障がい・難 い	
3	きやうどうせいかつえんじょ 共同生活援助	かぞ AMANEKU加須	さいたまけん かぞし ちゆうおう 埼玉県加須市中央 2-3-33	れいわ ねん がつ にち 令和4年4月1日	せいしんばう ちてきしやう 精神障がい・知的障 がい・身体障がい・難 い	30
4	たんき にゆうしよ 短期入所	かぞ たんき AMANEKU加須 短期 にゆうしよ 入所	さいたまけん かぞし きさい 埼玉県加須市騎西 1130-6	れいわ ねん がつ にち 令和4年6月1日	せいしんばう ちてきしやう 精神障がい・知的障 がい・身体障がい・難 い	
5	きやうどうせいかつえんじょ 共同生活援助	ちば はなみがわ AMANEKU千葉花見川	ちばけん ちばし はなみがわく ちくさちやう 千葉県千葉市花見川区千種町 100-7	れいわ ねん がつ にち 令和4年6月1日	せいしんばう ちてきしやう 精神障がい・知的障 がい・身体障がい・難 い	31
6	たんき にゆうしよ 短期入所	ちば はなみがわ AMANEKU千葉花見川 たんきにゆうしよ 短期入所	ちばけん ちばし ちゆうおうく やはぎちやう 千葉県千葉市中央区矢作町 418-1	れいわ ねん がつ にち 令和7年7月1日	せいしんばう ちてきしやう 精神障がい・知的障 がい・身体障がい・難 い	
7	きやうどうせいかつえんじょ 共同生活援助	みなみあしがら AMANEKU南足柄	かながわけん みなみあしがらしいわはら 神奈川県南足柄市岩原 328-14	れいわ ねん がつ にち 令和5年9月1日	せいしんばう ちてきしやう 精神障がい・知的障 がい・身体障がい・難 い	60
8	たんき にゆうしよ 短期入所	みなみあしがら AMANEKU南足柄 短 期入所	かながわけん みなみあしがらしいわはら 神奈川県南足柄市岩原 328-14	れいわ ねん がつ にち 令和5年9月1日	せいしんばう ちてきしやう 精神障がい・知的障 がい・身体障がい・難 い	6
9	きやうどうせいかつえんじょ 共同生活援助	のだ なかさと AMANEKU野田中里	ちばけん のだし なかさと 千葉県野田市中里 427-1	れいわ ねん がつ にち 令和5年11月1日	せいしんばう ちてきしやう 精神障がい・知的障 がい・身体障がい・難 い	40
10	たんき にゆうしよ 短期入所	のだ なかさと AMANEKU野田中里 たんきにゆうしよ 短期入所	ちばけん のだし なかさと 千葉県野田市中里 427-1	れいわ ねん がつ にち 令和5年11月1日	せいしんばう ちてきしやう 精神障がい・知的障 がい・身体障がい・難 い	4
11	きやうどうせいかつえんじょ 共同生活援助	のだ ことひら AMANEKU野田琴平	ちばけん のだし のだ 千葉県野田市野田 289-1	れいわ ねん がつ にち 令和5年12月1日	せいしんばう ちてきしやう 精神障がい・知的障 がい・身体障がい・難 い	10
12	たんき にゆうしよ 短期入所	のだことひら AMANEKU野田琴平 たんきにゆうしよ 短期入所	ちばけん のだし のだ 千葉県野田市野田 289-1	れいわ ねん がつ にち 令和5年12月1日	せいしんばう ちてきしやう 精神障がい・知的障 がい・身体障がい・難 い	

【資料1-1】

36	たんき にゅうしょ 短期入所	AMANEKU ^{まちだ のつだ} 町田野津 ^{まち たんき にゅうしょ} 田町 短期入所	とうきょうと まちだし のづたまち 東京都町田市野津田町3177-1	れいわ ねん がつ にち 令和7年5月1日	ちてきしょう しんたいしょう 知的障がい・身体障 がい	2
37	きょうどうせいかつえんじょ 共同生活援助	AMANEKU ^{かつしかとうがね} 葛飾東金 ^{まち たんき にゅうしょ} 町A棟 短期入所	とうきょうと かつしかく ひがしかなまち 東京都葛飾区東金町7-29-2	れいわ ねん がつ にち 令和7年5月1日	ちてきしょう しんたいしょう 知的障がい・身体障 がい	40
38	たんき にゅうしょ 短期入所	AMANEKU ^{かつしかとうがね} 葛飾東金 ^{まち とう たんき にゅうしょ} 町A棟 短期入所	とうきょうと かつしかく ひがしかなまち 東京都葛飾区東金町7-29-2	れいわ ねん がつ にち 令和7年5月1日	ちてきしょう しんたいしょう 知的障がい・身体障 がい	2
39	たんき にゅうしょ 短期入所	AMANEKU ^{かつしかとうがね} 葛飾東金 ^{まち とう たんき にゅうしょ} 町B棟 短期入所	とうきょうと かつしかく ひがしかなまち 東京都葛飾区東金町7-29-1	れいわ ねん がつ にち 令和7年5月1日	ちてきしょう しんたいしょう 知的障がい・身体障 がい	2
40	きょうどうせいかつえんじょ 共同生活援助	AMANEKU ^{おうめ やの} 青梅谷野	とうきょうと おうめし やの 東京都青梅市谷野81-1	れいわ ねん がつ にち 令和7年6月1日	ちてきしょう しんたいしょう 知的障がい・身体障 がい	20
41	たんき にゅうしょ 短期入所	AMANEKU ^{おうめ やの} 青梅谷野 ^{たんき にゅうしょ} 短期入所	とうきょうと おうめし やの 東京都青梅市谷野81-1	れいわ ねん がつ にち 令和7年6月1日	ちてきしょう しんたいしょう 知的障がい・身体障 がい	2

事業計画書(実績報告書) 日中サービス支援型指定共同生活援助

基本情報	1	法人名称	合同会社 ドウマン クレール
	2	事業所名称	オーブ
	3	事業所所在地	八王子市下柚木2-11-16
	4	各ユニット名称・所在地	①メゾン (八王子市下柚木2-11-16)
	5	主たる対象者	知的障害者 ・ 精神障害者
	6	定員	合計5人 ①メゾン 5人
	7	短期入所	合計1室 ユニット名 メゾン (1室)
人員配置について	8	人員配置	人員配置区分 5:1 管理者 1人(常勤換算1人) サービス管理責任者 1人(常勤換算1人) 世話人 3人(常勤換算2.4人) 生活支援員 3人(常勤換算2.4人)
	9	介護業務に係る資格取得従業者	介護福祉士 1人 実務者研修修了者 0人 ヘルパー2級 2人
	10	夜間支援体制	夜間支援員 2人
	11	看護師の配置 (配置人数、週勤務時間数等)	あり ・ なし 配置状況詳細(1人 40時間)
	12	事業の目的・理由 (日中サービス支援型の実施に至った経緯等)	家庭での同居や退院後に一人暮らしが困難で日中支援型GH以外に入居できない方の入居先として支援を行なうことを目的として設立。 重度化高齢化に対応。需要の高さを実感して対応を考えた。

運営・支援について	13 支援の基本方針	<p>ご利用者が清潔で快適な環境で、ご利用者主体とし安心して楽しく生活ができるように支援する。ご利用者の意思を尊重し自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指します。</p> <p>自立をサポートし、寄り添い、将来設計を共に考え最期まで安心して暮らせる施設の提供を目指し社会福祉に寄与することを目的とします。日々の学習や生きがい、明日を感じる生活プログラム。ご利用者自身が社会へできることを考える。社会と共に生きるグループホームです。</p> <p>年間(季節)イベント、食事作り、野菜作り、趣味を広げる等様々なプログラムを通して学びや発見、生きがいを見つけ、生活を通じてコミュニケーションを広げます。</p> <p>人と人との繋がりを大切にします。</p> <p>ご利用者もご家族も生活も成長も夜が明けるのが楽しみ、明日を感じ『明日が楽しみ』がテーマです。</p>
	14 日中の支援方法 (日中をGHで過ごす利用者に対して、どのような支援を行うのか)	<p>ご利用者の特性に応じたプログラムを作成し実施。自立の為に学習や体操。また、近隣地域との交流を通じた活動として美化活動や催しへ参加することによる社会への参加を促す。庭での野菜、植物栽培を通して食の大切さを学んだり、日常生活を基本にした1か月単位のプログラムを作成し実施している。具体的には買い物、外食での食事会、ホーム内での調理教室、月1回季節の行事、社会見学を行いご利用者自身の自立意欲を養う。散歩や近所の清掃を通して地域の方との交流場面を増やす。音楽や美術、語学を学ぶ。毎日手作りおやつを提供しているので、一緒に作る。ご自分の部屋の掃除を職員と一緒にやる。施設内外の共有スペースの清掃を行う。配達された食材の仕分け担当を決め実施する。</p>
	15 地域との交流方法 (日中をGHで過ごす利用者が、地域との交流が希薄にならない工夫等)	<p>地域の清掃、美化、挨拶、催し物への参加等を通じて、近隣の方が障害者に対する理解を深めていただけるよう努力をしています。散歩や近所の清掃、買い物、外食での食事会を通して、地域の交流場面を増やす。定期的に地域の民生員の方に来訪いただき、地域社会との交流方法を相談している。今後は近所の公園でのバーベキューや食事会を通し、近所の方を招いて、さらに交流を深めるような方法を探っていきたいと考えています。</p>

運営・支援について	16	健康管理について (医療機関との連携、医師や看護師の訪問の有無、日々の健康チェック方法等)	月に1回の医師の往診を実施。また、必要な方には訪問看護師と契約をしていただき、週に1~2回程度の訪問看護の実施を行っている。歯科医および歯科衛生士による口腔ケアの実施。日々の健康チェックとしては、毎日バイタルチェックを行い記録し健康管理に努める。
	17	食事について (栄養士の有無、食事の提供方法等)	栄養士は不在。外部食材配達会社にて食材を調達。職員が調理し提供する。 メニューが決まっているためカロリーコントロールが可能。
	18	設備と運営の特色や工夫	極力段差を減らしている。 家庭的で落ち着ける環境とし、一人ひとりが落ち着いて暮らせるように一人ひとりの特性に合った支援を心掛けている。
利用者について	19	平均支援区分	現利用者: 区分4.4 内訳 区分4:3人、区分5:2人 利用予定者:
	20	利用者の障害特性等 (医療的ケアの必要性の有無、強度行動障害のある利用者の有無等)	現利用者: なし 利用予定者: 短期入所で受け入れ可能。
	21	利用者の通所状況	現利用者: 通所する利用者 4人 GHで日中を過ごす利用者 1人
	22	(新規開設又はユニット増の場合のみ) 利用者の入居の申し込み状況・新規利用者の募集方法	
その他	23	その他	

ほうじんじょうほう
○法人情報

1	ほうじんめいしょう 法人名称	ごうどうがいしや 合同会社 ドウマン クレール
2	しょざいち 所在地	とうきょうとはちおうじしだいまち 東京都八王子市台町1-24-27 ドミネ21台町 1F
3	もくてき 目的・実施事業	にっちゅう しえんがたしていきょうどうせいかつえんじょ 日中サービス支援型指定共同生活援助

じぎょうしょいちらん
○事業所一覧

	サービス種類 しゅるい	事業所名称 じぎょうしょめいしょう	所在地 しょざいち	していねんがつび 指定年月日	しゅ たいしょうや 主たる対象者	ていいん 定員
1	きょうどうせいかつえんじょ 共同生活援助	オーブ	はちおうじししもゆぎ 八王子市下柚木2-11-16	2024年10月1日 ねん がつ にち	ちてき 知的および せいしんしょうがいしや 精神障害者	5
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業計画書(実績報告書) 日中サービス支援型指定共同生活援助

基本情報	1	法人名称	ソーシャルインクルー株式会社
	2	事業所名称	ソーシャルインクルーホーム八王子館町
	3	事業所所在地	東京都八王子市館町2番2号
	4	各ユニット名称・所在地	①ソーシャルインクルーホーム八王子館町Ⅰ 八王子市館町2番2号 1階 ②ソーシャルインクルーホーム八王子館町Ⅱ 八王子市館町2番2号 2階
	5	主たる対象者	知的障害者・精神障害者・身体障害者・難病等対象者
	6	定員	①ソーシャルインクルーホーム八王子館町Ⅰ 10人 ②ソーシャルインクルーホーム八王子館町Ⅱ 10人
	7	短期入所	合計2室 短期入所 八王子館町(2室)
人員配置について	8	人員配置	人員配置区分 (5:1) 管理者 1人 サービス管理責任者 2人 世話人 24人(常勤換算 8,2人) 生活支援員 8人(常勤換算6,1人)
	9	介護業務に係る資格取得従業者	介護福祉士 2人 実務者研修修了者 0人 ヘルパー2級 4人 強度行動障害研修基礎・実践修了者 4人
	10	夜間支援体制	夜間支援員総数 16人 1日のユニット内訳 ① 1階 2人 ② 2階 2人
	11	看護師の配置 (配置人数、週勤務時間数等)	あり・なし 配置状況詳細()

運営・支援について	12	事業の目的・理由 (日中サービス支援型の実施に至った経緯等)	「住まいで困っている障がい者が「0」の社会を創る」を法人理念として掲げており、障がいをお持ちの方に安心安全な生活を提供させていただきたいと考えております。
	13	支援の基本方針	障がいをお持ちの方が地域で自分らしく生活していけるように、食事介助、入浴介助、排泄介助、生活全般の介助等支援してまいります。
	14	日中の支援方法 (日中をGHで過ごす利用者に対して、どのような支援を行うのか)	食事、入浴、排泄、生活全般の介助、買い物代行、余暇活動として、買い物同行、ホーム周りの散歩、トランプ、オセロ、将棋、折り紙、ぬり絵、誕生日会やクリスマス会、調理レクリエーション、お祭りの開催等、利用者様お一人お一人の障害特性やこだわりに配慮し支援させていただいております。
運営・支援について	15	地域との交流方法 (日中をGHで過ごす利用者が、地域との交流が希薄にならない工夫等)	2025年10月2日の地域連携推進会議以降、近隣の学校行事への参加実施しております。大家さんや町内会の方との交流を密に行い今後地域のお祭りや行事、避難訓練等の参加を検討しています。
	16	健康管理について (医療機関との連携、医師や看護師の訪問の有無、日々の健康チェック方法等)	入居時に訪問診療、訪問看護、訪問歯科、リハビリ等の利用契約を結んでいただいております。 水分制限、食事制限のある方への配慮、体重測定等お一人お一人に合った健康管理を実施しています。 バイタルチェックは毎朝必ず行っております。
	17	食事について (栄養士の有無、食事の提供方法等)	カロリー計算されたメニュー食材を発注、ホームで調理を行い温かい食事を提供させていただいております。 食事形態や水分量については個々の健康状態に合わせ提供させていただきます。
	18	設備と運営の特色や工夫	浴室にはリフトを設置、滑り止めマット、介助用椅子を利用し入浴介助をさせていただいております。 1階は車いすを利用されている方が多いためお手洗いを改装し車いす用の手洗いを2箇所設置しております。
	19	平均支援区分	現利用者：平均区分 4, 79 区分6→6人 区分5→8人 区分4→6人
			利用予定者：

利用者について	20	<p>利用者の障害特性等 (医療的ケアの必要性の有無、強度行動障害のある利用者の有無等)</p>	<p>現利用者:無 医療的ケア:無 強度行動障害:有 (8人)</p> <p>利用予定者: 医療的ケア: 強度行動障害:</p>
	21	<p>利用者の通所状況</p>	<p>現利用者:20人 通所する利用者 13人 GHで日中を過ごす利用者 7人</p> <p>利用予定者: 通所する利用者 GHで日中を過ごす利用者</p>
	22	<p>(新規開設又はユニット増の場合のみ)利用者の入居の申込み状況・新規利用者の募集方法</p>	
	23	<p>その他</p>	<p>日中支援型という利点を生かし、本人が行きたいと思う作業所を探すお手伝い、望む日数、社会とのつながりのための通所、行きたくない日は休んでもいいと思える環境等、自分で選択する判断力を養うお手伝いをさせていただいております。</p>

ホウジンジョウホウ
○法人情報

1	ホウジンメイシヨウ 法人名称	ソ－シャルインクル－株式会社
2	ショザイチ 所在地	トウキョウト シナガワク ミナミオオイ オオモリ 東京都品川区南大井6-25-3 いちご大森ビル2F
3	モクテキ ジッシジギョウ 目的・実施事業	①障がい者の住まいのインフラとなる ②障がい者が日本のどこでも自立を目指す環境を創る ③どこでも同じという安心のSI品質を確立する 実施事業 障がい者グループホーム'共同生活援助)

コト ギョウイ イチラン
○事業所一覧

	サービス種類	事業所名称	所在地	指定年月日	主たる対象者	定員
1	ショウガイ 障害者グループホーム キョウヘイカエンジョ (共同生活援助)	ソ－シャルインクル－ ホーム八王子館町	ハチオウジ タテマチ 八王子市館町2-2	2020.11.1	シンタイ セイシン チテ 身体・精神・知 的障害	20
2	ショウガイ 障害者グループホーム キョウヘイカエンジョ (共同生活援助)	ソ－シャルインクル－ ホーム八王子宇津木	ハチオウジ ウツギ マチ 八王子市宇津木687-1	2018.7.1	シンタイ セイシン チテ 身体・精神・知 的障害	20
3	ショウガイ 障害者グループホーム キョウヘイカエンジョ (共同生活援助)	ソ－シャルインクル－ ホーム八王子元八王子	ハチオウジ モトハチオウジ マチ 八王子市元八王子2-1913-11	2018.12.1	シンタイ セイシン チテ 身体・精神・知 的障害	20
4	ショウガイ 障害者グループホーム キョウヘイカエンジョ (共同生活援助)	ソ－シャルインクル－ ホーム稲城坂浜	イナギシ サカハマ 稲城市坂浜2375-2	2018.11.1	シンタイ セイシン チテ 身体・精神・知 的障害	20
5						
6						
7						
8						
9						
10						

権利擁護推進部会 上半期（2025年4～11月）活動報告

1. 権利擁護推進部会 定例会（開催日：2025/4/15、5/27、6/17、7/15、8/19、9/16、10/14、11/5）月に1回、市役所本庁舎において対面で開催。今年度より事務局がヒューマンケア協会から八王子市基幹相談支援センターに移行され、障害者福祉課との協働により部会の運営を行っている。本部会には視覚、聴覚、知的、精神、肢体に障害のある委員が約半数おり、配布資料のテキスト化やルビ振り、手話通訳者などの情報保障や合理的配慮を行い、八王子市の障害のある方の差別解消や虐待防止などの活動に取り組んでいる。上半期の主な議題としては、毎年行っている障害者サポーター養成講座、ファシリテーター養成講座の企画、実施、いちょう祭りでの障害理解に関するクイズや点字体験などのブース出展の準備、また虐待防止研修についての検討を行った。

2. 障害者サポーター養成講座/ファシリテーター養成講座
障害者サポーター養成講座は、「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」の周知はもちろん、条例で事業者に義務化された「合理的配慮」や「障害の社会モデル」といった考え方や障害のある方との接し方などを権利擁護推進部会員の障害のある人ない人がペアでファシリテーターとなり、参加者同士でのグループワークを通じて学び合うための講座である。上半期は5/30、8/29の夜間の時間帯で2回開催し、両日とも定員（20人）を超える参加申し込みがあった。参加者の中には2、3回目の受講の方もおり、直接、障害当事者であるファシリテーターと対話ができることを期待して受講した方もいた。現在は権利擁護推進部会の委員ではない障害当事者や支援者にファシリテーターを担ってもらうことを目的とした養成講座も実施している。またグループワークで使用する教材を生成AIを活用して修正する試みも始めており、障害者差別の生じやすい場面（公共交通機関や飲食店、商業施設など）を設定し、より実態に沿った事例を取り上げていきたい。さらに受講修了者のうち、希望される方にはメールアドレスなどを登録していただき、今後の部会の活動報告やイベント開催などの案内を送付し、部会の活動をサポートして頂けるように呼びかけも行い、広くつながりを作れるような活動を進める。次回の講座は来年2月に日中の時間帯で東京多摩みらいメッセ（保健所のご協力の元）での開催を検討している。

3. 障害者虐待防止研修
今年度の障害者虐待防止の対面での研修は、9/24と10/6の夜間に市役所にて市内の障害福祉サービス事業所向けに講義形式で開催した。参加者は合計約180名でテーマは「職員のメンタルヘルス」と題し、松下功一氏（社会福祉法人文京槐（えんじゅ）の会は～と・ピア2施設長）から、風通しの良い職場づくりなどを通じた、虐待防止の取組の講義をして頂いた。またYouTubeによる虐待防止法研修も行っており、藤本豊氏（NPO法人多摩草むらの会理事）から虐待防止法の概要や具体的な虐待事例についての説明を配信している。

4. いちょう祭りでの条例周知イベント
11月15、16日の2日間、陵南公園会場にて権利擁護推進部会としてブースを出展し、障害理解に関するクイズ、点字体験、バリアフリーボックス（身近な合理的配慮を体験）、パネル展示などによる啓発活動を行った。また今年度はデフリンピック東京大会と重なり、デフリンピックについてのクイズや大会ロゴの入ったピンバッチの配布、ステージ発表では、手話サークル山吹会の手話コーラスなど聴覚障害に関連する内容を実施した。当日は権利擁護推進部会委員、障害者福祉課、八王子視覚障害者福祉協会、また帝京大学のボランティア学生にも協力して頂き、条例案内のチラシ約1,200枚、ポケットティッシュ約900個、クイズ回答者数は大人約380人、子供約280人、点字体験は150人、バリアフリーボックス体験は74人と、とても盛況であった。

令和7年度（2025年度）八王子市障害者地域自立支援協議会
相談支援・地域移行部会 上半期活動報告

1. 相談支援・地域移行部会 全体会

(1) 第1回 相談支援・地域移行部会

- 日時：令和7年5月12日（月） 15時から 17時（八王子市役所 第6委員会室）
- 出席：15名
- 主な議案：令和7年度 相談支援・地域移行部会の活動について
・令和7年度の活動計画について協議及び相談支援ワーキング、地域移行支援推進ワーキングの活動についての確認
- 情報共有：
・基幹相談支援センター設立について
・事例検討会の開催状況について

2. 相談支援ワーキング

(1) 第1回 相談支援ワーキング

- 日時：令和7年7月14日（月） 15時から 17時（八王子市役所 第6委員会室）
- 出席：10名の他相談支援従事者現任研修受講生 傍聴者4名
- 検討事項：地域体制強化共同支援記録書の取扱いについて
・記録書の記載事項および運用方法について委員より報告、検討
- 情報共有
・基幹相談支援センター活動報告
① 第1回事例検討会5月12日開催の状況報告
② 第1回相談支援スキルアップ研修7月18日開催の進捗共有

3. 地域移行支援推進ワーキング

(1) 第1回 地域移行支援推進ワーキング

- 日時：令和7年9月16日（火） 16時から 17時（八王子市役所 第6委員会室）
- 出席：9名
- 検討事項：相談支援、地域移行部会と八王子PSW研究会によるコラボ研修10月8日開催の企画について
・コラボ研修企画の内容に関する確認、意見交換

4) 情報共有:

- ・ 特定相談・一般相談連携機能強化支援事業について
 - ・ 八王子市の精神科病院入院者数の状況について
 - ・ 基幹相談支援センター活動報告
- ① 第2回事例検討会 7月22日開催 の報告
 - ② 第1回相談支援スキルアップ研修 7月18日開催 の報告
 - ③ 第2回相談支援スキルアップ研修 8月4日開催 の報告

(しゅうろうしえんぶかい かつどうほうこく)
【就 労 支 援 部 会 活 動 報 告】

1. 定例会

① 6月11日 (水) 10:00～12:00

- ・ 今年度の部会活動について
- ・ 地域課題の捉え方について：施策40・42に関して就労移行・定着支援事業の状況把握を行う
- ・ 就労選択支援事業の実施に係る状況把握について：就労支援者連絡会に合わせて勉強会を開催する

② 10月15日 (水) 10:00～12:00

- ・ 地域課題について：就労移行支援施設の活用状況（アンケート報告、意見交換）＊別紙

2. 特別支援学校新規卒業生の就労継続支援B型利用に係る移行支援事業所のアセスメントの実施

八王子西特別支援学校、多摩桜の丘学園の対象生徒（計25名）について、市内移行支援事業所により学校にて集団アセスメントを実施した。（八西：11月、多摩桜：10月）
実施前、関係者（市、学校、移行支援事業所）の打合せを年2回、他、保護者説明会を実施した。

3. 就労支援者連絡会

参加者：市内就労支援機関、医療機関、特例子会社、ハローワーク

第1回・7月31日 (水) 15:30～17:00 参加者29名

テーマ：就労選択支援事業について（事業概要を共有）

第2回・9月24日 (水) 14:00～16:00 参加者24名

テーマ：企業見学～株式会社ベネッセビジネスメイト（見学、意見交換）

第3回・11月19日 (水) 15:30～17:00 参加者18名

テーマ：定着支援（グループでの意見交換）

◇ 第4回 (予定)・2月18日 (水) 15:30～17:00

テーマ：リワーク支援（企業・支援機関の報告と意見交換を予定）

【アンケート：就 労 移行支援施設等の活用について】

趣旨：「八王子市障害者計画 施策40：就 労 移行支援施設等の活用」に関する 状 況 把握を行う

実施期間：2025 (R7) 年8月20 か 9がつ3にち

回答数：17事業所 (配布：20事業所)

【関連施策40】 就 労 移行支援施設等の活用

現状：障害者地域自立支援協議会等において、就 労 に向けた求 人 情報の 提供を行うなど、さらなる連携の強化が必要である。

福祉的就 労 から一般就 労 を希望する当事者への支援が必要である。

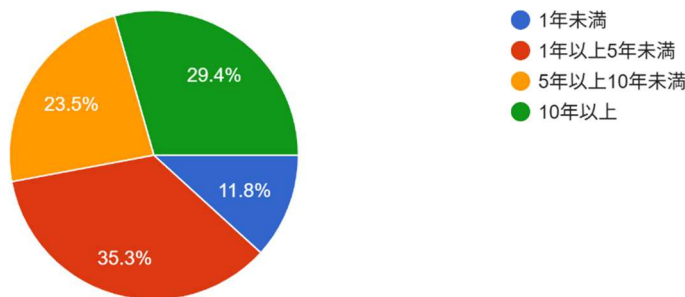
取組：就 労 移行支援施設などを活用し、一般就 労 への移行を促進します。

障害者本人の希望や適性に合った仕事が選択できるよう支援します。

1. 貴事業所についてお聞きします。

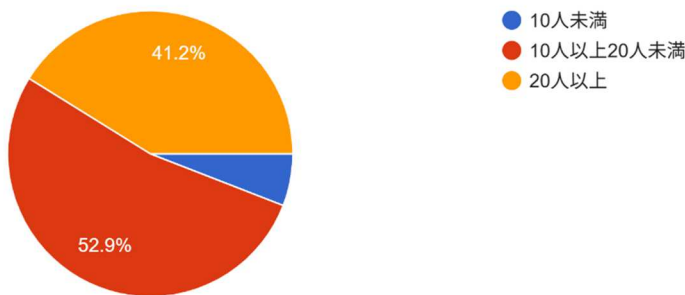
(1) 開設からの 営 業 年数をお選びください。

1年未満：11.8% 1年以上5年未満：35.3% 5年以上10年未満：23.5% 10年以上：29.4%



(2) ご利用者の定員を教えてください。

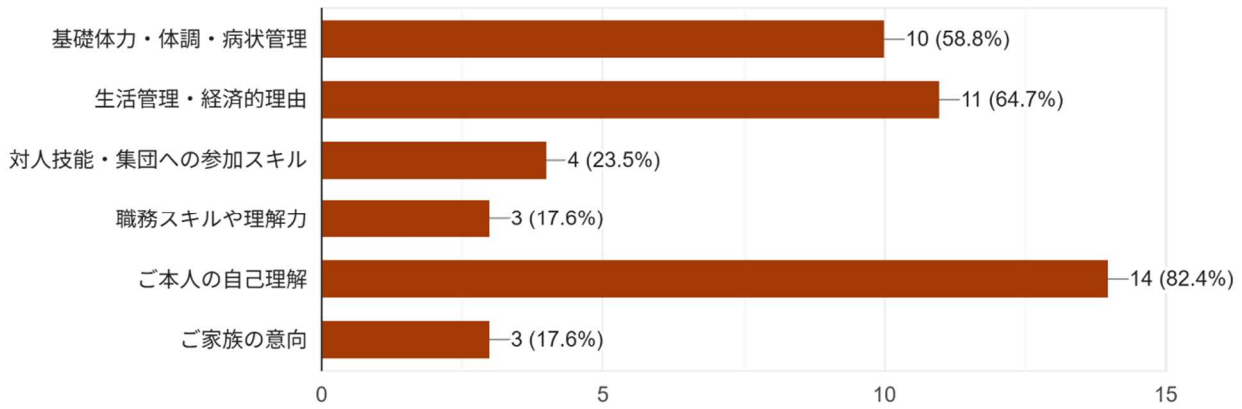
10人未満：5.9% 10人以上20人未満：52.9% 20人以上：41.2%



2. ご利用者支援についてお聞きします。

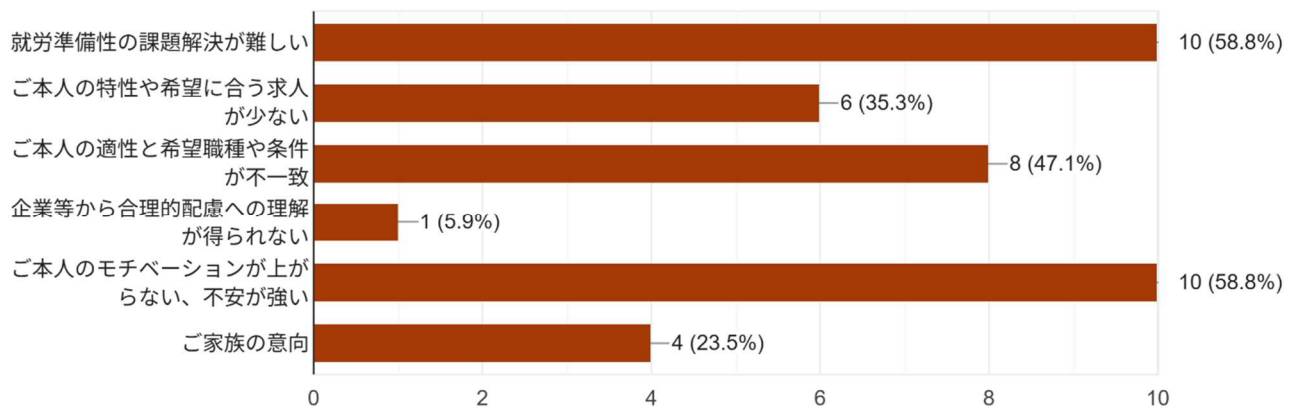
(1) 就 労 準備性支援において、準備性向上への影響が大きい、または向上が難しいと思われる点を3つまでお選びください。

1位：ご本人の自己理解 (82.4%) 2位：生活管理・経済的理由 (64.7%)
 3位：基礎体力・体調・病 状 管理 (58.8%) 4位：対人技能・経済的理由 (23.5%)
 5位 (2項目同率)：職務スキルや理解力/ご家族の意向 (17.6%)



(2) 就職活動支援において、活動を困難にする点を3つまでお選びください。

- 1位 (2項目同率) : 就労準備性の課題解決が難しい (58.8%)
 ご本人のモチベーションが上がらない、不安が強い (58.8%)
 2位 : ご本人の適性と希望職種や条件が不一致 (47.1%)
 3位 : ご本人の特性や希望に合う求人が少ない (35.3%)
 4位 : ご家族の意向 (23.5%) 5位 : 企業から合理的配慮への理解が得られない (5.9%)



(3) 就職後のサポートはどのように支援されていますか？

◇ 主な回答 (集約)

- ・ 月1回以上の面談、定期連絡、来所対応、その他必要時の相談
- ・ 必要な方にはジョブコーチ支援を行う
- ・ 希望者は定着支援事業 (障害福祉サービス) をご利用いただく

(4) 就労準備支援や就職活動支援において、地域のネットワークの機能や情報収集に関する課題、望むことなどがありましたらご記入ください。

◇ 主な回答 (集約)

- ・ 地域ネットワークなどの見える化
- ・ 地域の情報をリアルタイムで共有できるオンラインプラットフォームを構築
- ・ 利用者が自分で調べやすいように、情報の整理・見える化 (パンフレットやデータベース化) を進めていただけると良い
- ・ 企業やハローワークと連携した説明会や合同面接会の機会をもっと増やしてほしい
- ・ 職場見学、体験ができる企業を幅広く教えてほしい

- ・企業の情報（特に定着率や合理的配慮の実施、定着支援の受け入れ等）を詳しく知れる方法があればと思う
- ・事例発表会、就労準備支援のケースワーク
- ・生活支援が多く、就労移行を希望されていても訓練開始から就職まで結びつかないケースが多い。早い段階でのB型への移籍など事業所ごとのアセスメント方法やこういったケースが増えているかなどの共有ができればいいと感じる。

3. 就労移行支援事業の運営に関してお聞きします。

(1) 就労移行支援事業の運営に関するご苦労や課題がありましたらご記入ください。

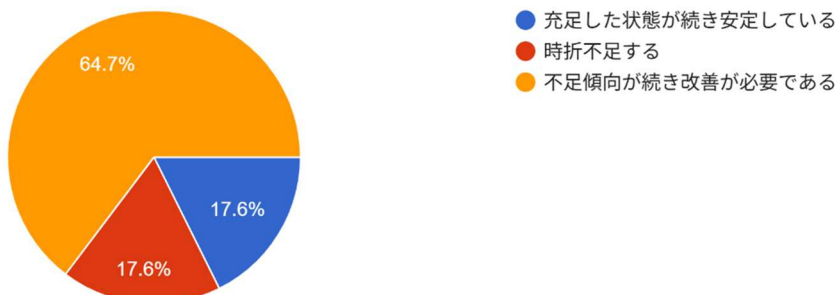
◇ 主な回答（集約）

- ・ご利用者の確保（多数）
- ・職員の定着、スキル向上
- ・困難ケースの相談先
- ・事業の周知、広報活動

(2) ご利用者状況について、お聞きします。

① 定員充足状況について、下記よりお選びください。

- 1位：不足傾向が続き改善が必要である（64.7%）
- 2位（2項目同率）：不足傾向が続き改善が必要である（17.6%）
時折不足する（17.6%）



② 上記理由と思われる点がありましたらご記入ください。

◇ 主な回答（集約）

- ・事業所が増加
- ・法定雇用率が上がり就職がしやすくなっている
- ・就労準備性が低い方の希望が増加するが通所が続かない

4. 事業の今後の展開に向けて

(1) ご本人の「一般就労への移行の促進」「ご本人の希望や適性に合った仕事を選択できるように」（障害者計画施策40）に向け、貴事業所のアピールポイントがあればご記入ください。

◇ 主な回答（集約）

- ・ご本人に合わせた細やかな支援、アセスメント訓練内容の調整（多数）
- ・働く疑似体験の提供、自己肯定感の支援
- ・企業の見学、実習（多数）
- ・専門分野に特化した支援（クリエイティブ～事務分野など）

- ・ 定 着 支 援 の 充 実

(2) 移行支援事業所が働く意欲のある障害者のご希望を叶えるために、重要と考える点を
ご記入ください。

◇ 主な回答（集約）

- ・ より多様な働き方（超短時間、リモートワークなど）の観点で企業側の受け入れ体制の構築、
当事者ご自身の特性やスキルの把握など。
- ・ インフォームドコンセントとエンパワメント
- ・ 準備活動支援、体力、本人の自己理解、本人の発信力、ジョブマッチング、モチベーション維持
- ・ 資源の開拓、地域や関係機関と連携し支援を行っていく事
- ・ 本人はもちろん、本人をとりまく家族や、就業環境のアセスメント。そのアセスメントを適正
に生かすこと
- ・ 職場定着支援の強化

れいわ ねんど こども ぶかい かつどうほうこく
令和7年度 子ども部会 活動報告

1. 部会の開催

だい1かい がつ か さんかしや めい
第1回 5月8日 参加者 19名

(1) 委員自己紹介 (2) 活動計画と年間予定について

(3) 八王子市障害者計画について

・委員の自己紹介、所属団体の紹介と状況について情報共有と意見交換、今年度の活動計画の

確認、八王子市障害者計画の子ども部会と関連する施策への意見について整理・共有しました。

2. ワーキングチームの活動

①医療的ケア児ワーキング

だい1かい がつ か さんかしや めい
第1回 6月5日 参加者 17名

(1) 今年度の活動予定について (2) 重症心身障害児(者)等在宅レスパイトについて

(3) 八王子市における医療的ケア児等の災害対策について

だい2かい がつ か さんかしや めい
第2回 7月10日 参加者 20名

(1) 重症心身障害児(者)等在宅レスパイトについて

(2) 八王子市における医療的ケア児等の災害対策について

だい3かい がつ か さんかしや めい
第3回 11月7日 参加者 17名

(1) 医療的ケア児・重症心身障害児者の社会資源について

(2) 医療的ケア児に関するリーフレット作成について

・重症心身障害児(者)等在宅レスパイトについて、支給量の96時間では休養が確保できない

事例がある等、現状と課題・解決へ向けた提案を共有しました。

・八王子市における医療的ケア児等の災害対策について現状の共有、意見交換を行いました。

- ・医療的ケア児・重症心身障害児者が利用している社会資源について、昨年度に更新したリストをもとに情報の更新、共有を行いました。ヘルパー、短期入所等、人材・社会資源不足は継続課題。

②児童発達支援・放課後等デイワーキング

第1回 5月30日 参加者 9名 (1) 今年度の活動予定について (2) 事業所訪問について

第2回 7月3日 参加者 8名 (1) 事業所訪問の進捗状況 (2) 事業所交流会について

第3回 9月11日 参加者 8名

(1) 事業所訪問報告 (2) 事業所交流会について (3) 事業所見学会について

第4回 10月7日 参加者 8名 (1) 児発・放デイ茶話会について (2) 事業所見学会について

第5回 11月20日 参加者 8名 (1) 茶話会の振り返り (2) 事業所見学会について

- ・事業所同士の顔が見える関係づくりを促進するため、6か所の事業所見学を行いました。

- ・11月9日（日）「令和7年度 児童発達支援・放課後等サービス茶話会」を開催、17事業所39名の参加がありました。

- ・「令和7年度 放課後等デイサービス事業所見学会」を12月～1月に6か所の事業所で開催予定です。7事業所15名（延べ17事業所39名）の参加申し込みがあります。

③発達障害児ワーキング

第1回 6月19日 参加者15名 第2回 8月28日 参加者14名 第3回 10月23日 参加者 15名

(1) Q-SACCSを用いた発達障害のある子どもと家族を支援するための地域支援体制の点検

- ・Q-SACCSは、発達障害の地域における発達障害児者等の支援体制を分析・点検するための地域

評価ツール。現状の支援体制で何ができていて、何が課題なのかを見える化して点検を進めるた

めのものになっており、ワーキングでQ-SACCSシートに記入、強みと課題の整理途中です。

ち い き け い ぞ く し え ん ぶ か い 地域継続支援部会

れ い わ ね ん ど か み は ん き がつ がつ かつ どう ほう こ く 令和7年度上半期（4月～11月）活動報告

この報告は、「地域継続支援部会」とその傘下にある「委託・拠点事業者連絡会」、「グループホーム連絡会」、「日中活動支援事業所連絡会」の令和7年度4月から11月までの活動実績をまとめたものです。

ち い き け い ぞ く し え ん ぶ か い ほ ん た い かつ どう ほう こ く がつ がつ Ⅰ. 地域継続支援部会 本体活動報告（4月～11月）

かい ぎ かい さい じょう きょう 1. 会議の開催状況

- て い れ い ぶ か い れ い わ ね ん がつ にち か かい さい
定例部会を令和7年5月13日（火）に開催しました。
- り ん じ ぶ か い がつ にち すい かい さい
臨時部会を10月29日（水）に開催しました。

10月29日の臨時部会では、人材登用と定着に関する情報共有の代わりに、「条件付け指定」と「人材確保」について意見交換を実施した。

じぎょうしょ じつたいちょうさ じゅんぴじょうきょう 2. ガイドヘルパー事業所への実態調査（準備状況）

- い どう し え ん う い じょうきょう かくじぎょうしょ そうだんしえんじぎょうしょ れんけいきょうか もくてき
移動支援の受け入れ状況について、各事業所と相談支援事業所との連携強化を目的とした実態調査を計画・準備しました。
- し な い き ん り ん し たいしょう ないよう しゅうちぶん さくせいず はいふ がつ
市内と近隣市を対象とし、アンケート内容と周知文は作成済みです。配布は12月中旬、調査実施は12月～1月を予定しています。

かくれんらくかい かみはんき がつ がつ かつ どう ほう こ く Ⅱ. 各連絡会 上半期（4月～11月）活動報告

いたく きよてんじぎょうしよれんらくかい れんけいかつどう 1. 委託・拠点事業者連絡会および連携活動

- い た く きよてんじぎょうしよれんらくかい かくげつ かい さい
委託・拠点事業者連絡会を隔月で開催しました。
- きよてん れんけいかい ぎ まいつきかい さい かい きよてんきんきゅうじしえん がくしゅうかい
拠点コーディネーター連携会議を毎月開催し、このうち1回を拠点緊急時支援の学習会としました。
- きよてんきょうりよくじぎょうしよとうこうりゅうかい がつ がつ かい かい さい の めい さん か
拠点協力事業所等交流会を4月から11月までに4回開催し、延べ73名が参加しました。拠点協力事業所は現在34団体です。

2. グループホーム連絡会 活動報告（4月～11月）

- 定例会議：
 - 幹事会は隔月開催され、5/13、7/22、9/24、11/26 の計4回実施されました。
 - 全体会は 6/3（火）に開催され、40名が参加しました。
- 交流活動：
 - 交流バーベキュー大会を 2回開催しました。第1回は 5/24（土）に 27名、第2回は 11/22（土）に 81名（スタッフ 35名、利用者46名）が参加しました。
 - 見学交流会を 2回実施しました。5/26（月）に AMANEKU 八王子美山町（11名）、9/19（金）に Bowwow（8名、日野市の B 型と合同）を見学しました。
 - スタッフ交流会（暑気払い）を 8/28（木）に開催し、21名が参加しました。
- 調査・研修：
 - 実態調査は素案作りが遅延し、実施（郵送・回収）は年度内、集計・分析は来年度となる見込みです。
 - 日中連との合同研修を 10/1 に開催しました。

3. 日中活動支援事業所連絡会 事業報告（4月～11月）

- 幹事会 開催状況：年6回開催予定のうち、4月から 10月にかけて 4回が実施済みです。（4/16、6/18、8/20、10/22）
- 研修会の開催：
 - 第1回研修会を 10月1日（水）に日中連と合同開催しました。テーマは『強度行動障害の支援（概論）』で、友野剛行氏が講師を務めました。
 - 第2回（各論）は令和8年2月の開催予定です。
- 市内施設の見学会及び交流会：
 - 第1回として 7月2日に自立訓練（生活訓練）合同見学・交流ツアーが開催済みです。
 - 第2回以降は長沼通所センターなど複数の施設の訪問を計画中です。
- 施設職員交流会：
 - 第1回を 10月24日（金）に市役所食堂で開催し、生活介護、就労 B、グループホーム、相談支援、生活訓練など多職種の計76名が参加しました。
- 分科会活動：

- こうちんこうじょうぶんかい こうちんじっせき たか うっど ふあくとリー かんじ めい けんがく
工賃向上分科会は工賃実績が高いWood Factoryを幹事4名で見学しました。
- ぶんかい けんがくかいかいさい ねんどない きかくよてい
分科会としての見学会開催を年度内に企画予定です。
- せいかつくんれんぶんかい せいかつくんれんじぎょうしょ ちゅうしん ぶんかい かいさい げんざいけんとうちゅう
生活訓練分科会は、生活訓練事業所を中心とした分科会の開催を現在検討中
です。

にちじょうせいかつようぐきゅうふとうじぎょう すまーとふおんついか
日常生活用具給付等事業のスマートフォン追加について

ぎいたく せいかつ じゅうど しんしんしょうがいしゃ じ かたがた べんり す ひつよう ようぐ
在宅で生活する重度の心身障害者(児)の方々がより便利に過ごせるよう、必要な用具を
給付する「にちじょうせいかつようぐきゅうふとうじぎょう たいしょうひんもく みなお
日常生活用具給付等事業」の対象品目を見直しました。
じゅうらい たんまつ あら ついか
従来の「アプリケーションとタブレット端末」に、新たにスマートフォンを追加します。

1. がい よう
概 要

じょうほう い そつうしえんようぐ しかくしょうがいしゃしえんようぐ および けいたいようかいわほじょそうち
情報・意思疎通支援用具のうち、「視覚障害者支援用具」及び「携帯用会話補助装置」に
ついて、アプリケーションとあわ きゅうふ ばあい じゅうらい たんまつ くわ
併せて給付する場合、従来のタブレット端末に加え、スマート
フォンを選択可能とします。

※タブレットとスマートフォンのどうじきゅうふ
同時給付はできません。

※きゅうふけつていまえ こうにゆう きゅうふ たいしょう
給付決定前に購入されたものは、給付の対象となりません。

2. たい しょう
対 象

しゅうがくねんれいいじょう つぎ がいどう かた
就学年齢以上で次のいずれかに該当する方

- ① しかくしょうがい てちょうしょじしゃ
視覚障害の手帳所持者
- ② おんせいげん ごき のうしょうがい てちょうしょじしゃ
音声言語機能障害の手帳所持者
- ③ したいふじゆう てちょうしょじしゃ おんせいげんご いちじる ゆう かた
肢体不自由の手帳所持者で音声言語の著しい障害を有する方
(いし いけんしょ ひつよう
医師の意見書が必要)
- ④ ちょうかくしょうがい4きゅういじょう てちょうしょじしゃ
聴覚障害4級以上の手帳所持者

3. きじゅんがく きゅうふ じょうげんがく
基準額(給付の上限額)
まんえん
5万円

4. かいし び
開始日

れいわ7ねん 2025ねん 11がつ1にち
令和7年(2025年)11月1日